

例会報告 Rotary



ロータリーは機会の扉を開く
第2636回例会 令和3年4月2日
お祝い、会員スピーチ

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

<会長の時間>

先週に引き続き、ミャンマーについてお話ししたいと思います。2月1日のクーデターから2カ月以上経ちました。本来なら、その日は昨年11月の総選挙後、はじめて連邦議会が開かれる予定でした。軍は選挙に大敗したとしても、2008年の憲法制定で連邦議会の4分の1の議席を割り当てられることや、最も権力のある省庁を支配する権限を憲法で保障され、政治に大きな影響力を持ち続けることが出来ます。その憲法も、連邦議会で75%以上の承認が必要で、軍に拒否権があります。どうして軍事クーデターが起こしたのでしょうか。総選挙において、80%以上が国民民主連盟NDLに投票し、軍は予想以上の大敗に驚きました。そして、軍や、軍を支持する政党の中からも国民民主連盟NDLに投票して者がいるとして、急速な民主化の流れに、軍の特権が失われていくことの危機感を強めたのではないかと思います。



先週の土曜日27日は、国軍記念日で軍事パレードが行われました。これに合わせて各地で抗議デモが行われ、治安部隊の発砲により子供を含め100人以上の犠牲者が出ました。これに対し、アメリカが主導し、日本、イギリス、オーストラリアなど12か国が「非武装の市民に軍事力を行使したことを避難する」と共同声明を出しました。その反面、中国、ロシア、インドなど国軍と関係のある国々8か国は、式典に出席しました。国連安全保障理事会はスー・チーさんらの解放と、「平和的なデモ隊に対する暴力を強く非難する」とした議長声明を発表していますが、「内政不干渉」を強調する中国やロシアに考慮して、クーデターを直接非難したり制裁については触れられませんでした。アメリカやイギリスは、貿易協定の停止や国軍への資金源を断つために国軍系企業に制裁対象にしていますが、日本政府は制裁に対して慎重な立場を取っています。日本は世界最大の規模のミャンマー支援国で、2019年度の政府開発援助(ODA)は1893億円に上り、インフラ整備を支援しています。また、430社以上の日本企業が進出して国軍幹部とパイプがあり、「対話による解決」を続けていますが、改善はみられません。そこで日本政府は、ODAの停止を検討して入り状況です。しかし、民主主義と軍政の両にらみの「バランス外交」は、流血の事態の前に「あいまいさ」が目立つ日本に対して、ミャンマーの市民は怒りと失望の眼差しを向けています。

ミルクティー同盟は、香港、台湾、タイ、ミャンマーで起こっているネット上での民主化連帯運動です。紅茶を飲むのに、中国では何も入れませんが東南アジア諸国ではミルクを入れて飲むことから、「反中国運動」として始まりました。同盟という枠組みができたことで「戦術の共有や主張の拡散がしやすくなった」としています。独裁と戦う意思を示すために3本指を立てるポーズはタイで始まり、ミャンマーでも定着しました。このように、多くの若者を巻き込んだ民主化運動は、国軍の脅威となっています。

<幹事報告>

- ◎RI日本事務局
 - ・4月のロータリーレートについて 1ドル110円(3月106円)
- ◎高山山城米ライオンズクラブより
 - ・結成50周年記念大会のお知らせとお願い
 - 日時 10月31日(日) 式典13:00開始 祝宴17:00終了
 - 会場 高山グリーンホテル
- ◎米山梅吉記念館より
 - ・賛助会ご入会のお願いおよび記念館発行書籍のご案内
- <受贈誌>
 - 米山梅吉記念館(館報vol.37)、社団法人高山市文化協会(広報高山の文化No226)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
26名	-	26名	36名	75.00%

<お祝い>

◎会員誕生日 (当日欠席) 内田 幸洋 4.17



松田 康弘、斎藤 章 4.17 4.30 下屋 勝比古、井口 大輔 4.13 4.20

◎夫人誕生日

斎藤 章 厚子さん 4.5
向井 公規 祐子さん 4.22
榎坂 純一 真弓さん 4.20

◎結婚記念日

挾土 貞吉 S42.4.7
田中 晶洋 H6.4.16
井口 大輔 H14.4.4

◎出席表彰・3ヶ月表彰

コロナウイルス感染拡大防止にかかる例会中止措置のため、該当なし

◎在籍周年記念表彰

なし

例会報告

＜本日のプログラム＞ 会員スピーチ

井口 大輔

こんにちは。当高山西ロータリークラブに入会させて頂いて、早いもので1年半になりました。が…コロナ禍もあって未だ何も解っておりません汗。解らないながらも多くの方々とお話しさせて頂いたことは感謝感謝ですし、今回卓話をせよ！とのことですので少し自分自身のことをお話しさせて頂くことで「井口大輔」を知って頂ければと思います。

わたしは1972年4月20日この高山で新興自動車(株)井口家長男として生まれました。手相は千人握り・天下取り相といわれる両升掛を授かり、同じ誕生日の偉人は①ナポレオン3世②犬養毅③Aヒトラーと皆一世風靡するも長くは続かず最期は…な独裁的な方ばかり。一生モノと必死に考えたという親から子への最初のプレゼント「大輔」という名前も今でこそ「井口」ですが小学校4年生まで「下屋」という父方姓だったことを考えると姓名判断的に如何なものか汗。また家族構成の変化なく大人の都合で姓が変わったことで子供だからこそその理不尽な経験をさせて頂いたことを憶えています。

幼少期は祖父開道に毎日のように連れられて育ち、剣道・野球に習字や公文・英語でなぜか琴…何でもやってみたく、やらせてみたい好奇心いっぱいに過ごしました。人見知り何？というような子で世代的に当会メンバーの方のご自宅でやんちゃな遊びをして怒られたこと数知れず…今になって改めて高山のつながりの怖さと狭さを痛感すると同時にその節は大変ご迷惑をおかけしたことを反省する次第です。

身体は常に大きく強く生まれたらしく小学校6年+中学校3年の併せて9年は皆勤賞。当時オツムの成績は中の上くらいだったと自賛していますが、何かと世話を焼く母と口数が少なくウソが苦手な父に嫌気が差し、中学を卒業すると高山を離れて瑞浪にあるとある男女共学全寮制高校へ進学。3年間寮生活を送りました。私学だけあって週イチ道徳の授業があるのにもかかわらず当時の1年パンリ(奴隷)・2年鬼(実行部隊)・3年神様(諸悪の根源=計画指示者)的な厳しい上下関係下での生活は学業というより、同級友の足を引っ張りあうことで如何に要領よく生き延びる術を学ばせて頂きました。父が猛烈に勧めたゴルフ部を断固拒否して不純な動機で入部した「弓道」は現在でも朝日町「半弓道場」で少しだけ役立っていますが今となってはゴルフをやっておけば良かったと心から後悔するばかりです。

そんな高校生活を送ったわたしが現役で大学へ進学できるはずはなく、束縛感いっぱいの高校生活からの解放感と親への長い反抗期を継続したこともあって、数年遊んでやっと大阪府にある某大学へ進学しましたが途中阪神大震災に被災。震災によるありえない進級もあり、バイトとパチンコ・競馬に合コン等に明け暮れる怠惰な大学生活を繰り返し続けますが、最終4年生時に必死に毎日講義を受けた甲斐あって無事卒業させて頂くことができました。

卒業後は現在も弊社の主取引メーカーであるコマツへ就職。営業のイロハと結果を出すことの難しさとアプローチ過程の大切さを学ばせて頂きました。

その後2002年に高山帰郷。新興自動車株に入社し結婚。主として建機事業部で営業に従事、現在に至ります。コマツ入社直後に父の病気が発覚・急逝しました。バブル崩壊後の厳しい建設業下で結果の出せない営業活動から逃亡したいばかりのボクちゃんなわたしを当時高山に戻らず、後を継いで会社を切り盛りしてくれた母に今



は、今でこそ感謝しかありませんし、そんな母と菩薩のような祖母を最期まで献身的に看取ってくれた妻には益々アタマが上がりません。

最期に弊社は主として普通車から大型車・産業車両や建設機械に至るまで全てのクルマを「止めない整備」を目標に、昨年のような豪雨での災害時や降雪期になれば除雪作業といった地域に暮らすヒトの生活を守るべくクルマを通じて安心・安全をお届けしています。

母が他界し会社を継いで6年。昨年の新型コロナウイルス蔓延は現在も日本国内のみならず世界的経済を混沌とさせており、多業種の方が大ダメージを受け、未だ先が見えない状況です。コロナ禍における新しい経済・生活スタイルの構築は必須となる中、人口減と高齢化が加速する飛騨で生き残りをかけるべくこの度わたしも大きな決断もさせて頂きました。

自社の強みとは何なのか？お客様から何を求められているのか？お客様の仕事・クルマを止めないためにはどうしたら良いのか？限られた工数の中、安全に、確実に、最大限の成果を上げるためにはどうしたらよいのか？常に考え工夫することは改善と改革・向上に繋がり、結果となって現れます。

2021年も昨日より今日、今日より明日と前を向いて座右の銘「人生一筆書き」で書き直しのきかない筆を途切れることなく書き進めていきたいと思えます。最期に良い絵・良い字だと評価してもらえよう今後ともご指導頂きたくお願い致します。

＜ニコニコボックス＞

●堀 和信さん、下屋 勝比古さん

高山の桜が咲き始めました。いよいよ春ですが、まだまだ感染対策はしないとイケないですね。今日のはびのびになっていた井口大輔さんのスピーチです。じっくり煮詰めたお話を楽しみにしています。

●井口 大輔さん

去る3月28日に雨の中強行された懇親ゴルフでハンデに恵まれて優勝させて頂きました。有難うございます。今週4日のはぐるま会も雨予報の中、頑張ってきます。また今日の卓話は私の当番のようです。恥ずかしいので皆様見ザル聞かザル言わザルの3ザルでお願いいたします。

●高井 道子さん

クラブの皆様、長い間お休みさせていただきありがとうございます。依然として環境は厳しく会食禁止ですが、会食なしで参加する事に致しました、ご理解下さい。今後共ご指導宜しくお願いいたします。

●堀 幸一郎さん

事務所をリニューアルしてからちょうど1年が経過しました。コロナ禍になるとは想像もしていない中のリニューアル工事でしたので工事の変更が多々ありました。店頭コピーサービスをやめたり土足禁止にしたり、コロナ感染を防ぐための処置を盛り込みました。今となっては社員共々安心して仕事できるようにして頂きました。この様なワガママなクライアントの対応をして頂いた田中工務店さんに感謝しております。

●田近 毅さん、平 義孝さん、米澤 久二さん、田中 武さん、速藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、向井 公規さん、大村 貴之さん、塚本 直人さん、田邊 淳さん、杉山 和広さん、松田 康弘さん

いよいよ飛騨にも春がやってきました、サクラも咲き始めたようです。心も軽くなり、カラダもついでに軽くなる事を願います。一方でまん延防止等重点措置が大阪等3府県に出されました。気持ちも引き締めて過ごしましょう。